

H27年度看取り介護実施報告

(1)概況報告

平成27年度介護報酬改定において、看取り介護加算の要件が見直されたことから、施設における看取り介護のさらなる推進、充実に向けて、「看取り指針同意書」、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」を見直し、再度御家族に説明し書類の取りなおしを行いました。

(2)看取り介護実施状況

①看取り介護実施件数

- ・ H27年度、退所者17名（医療希望3名・病院で死亡2名・看取り介護で施設にて死亡12名）
- ・ 看取り介護対象者（H28年6月末現在）16名
 - （摂嚥下困難にて栄養不良・脱水の可能性ある・・・14名）
 - （意識消失発作繰り返しあり、意識がもどらない可能性ある・・・1名）
 - （肝硬変により食道静脈瘤あり、破裂しやすい・・・1名）

②H27年度看取り介護を実施した入所者（詳細）

	性別	年齢	介護度	入所年月日	看取り開始日	死亡日
A	女	78	5	H22.2.25	H25.7.18	H27.4.9
B	女	100	3	H25.10.31	H26.8.8	H27.4.10
C	女	78	4	H26.9.4	H27.7.10	H27.7.17
D	女	89	4	H21.8.6	H26.3.3	H27.9.4
E	女	78	4	H25.11.2	H27.2.2	H27.9.19
F	女	98	5	H21.11.26	H26.3.8	H27.11.9
G	女	91	3	H26.10.20	H27.5.14	H27.11.25
H	女	91	5	H12.3.23	H26.5.2	H27.12.15
I	女	82	5	H24.1.14	H27.7.31	H28.1.14
J	女	92	5	H24.2.12	H27.7.16	H28.1.21
K	女	92	5	H15.7.7	H23.8.1	H28.2.19
L	男	74	5	H26.4.26	H27.12.7	H28.3.22

計12名（男1名・女11名）

(3)看取り介護に対する意見

①家族の声

- ・ 最期まで職員の人達に見守ってもらい、本当にここの施設で良かった思った。病院だったら、このようなことはしてもらえなかった。本当にありがとうございました。
施設を出る時に多くの職員の方々が送ってくれて、とても嬉しくありがたかった。
火葬が終わってから、女性なのに喉仏の骨がしっかり残っていて、火葬場の職員の人が、これは栄養がしっかり摂れていた証拠と言われた。しっかり食事を見てもらい、介助してもらったからだと思う。
- ・ 食事が食べられなくなってから病院に入院し、その後も食べられなかったが、天間荘に戻って来て、また食事が食べられて、施設で生活できるようになって良かった。
- ・ 死に目には会えなかったけれど、夜は一緒に居れて良かった。様々な家族がいると思うけれど、自分達家族は、呼吸が止まったことをはっきり言ってもらって良かった。
自分達家族では、とてもじゃないけれど、介護することはできなかったので、施設の人達には感謝している。
- ・ 施設に入っても、最期まで自分が関わられて良かった。元々、一人暮らしだったので、たくさんの人に関わってもらえて良かった。いつも面会に行くと、きれいにしてもらっていて、有難かった。

- ・ 亡くなる前に、嫁と孫と一緒に来て、会えて良かった。病院で管に繋がれるより、施設で最期をむかえられ良かった。施設に任せきりになってしまった。
- ・ 孫が来た時に、目を開けてくれたりした。看取り介護に対しては、何も言うこともなく、後悔もないです。自分の問題で、最後に付き添っていたけれど、少し帰った間に亡くなってしまったのでそれが気持ちの中で、何で……って残っている。
天間荘は、皆さん明るい職員さんなので、本当に良かった。
- ・ 苦しんでいる様子がなかったと言われ、良かった。
- ・ 本当に良く見てもらい、身体が凄くきれいで有難かった。
- ・ 状態について、小まめに連絡がもらえて良かった。

②職員の声

- ・ 本人の意思が、意向がはっきりしていたので、食事量、形態に関しては、意思が尊重できたが、もう少し早い段階で好きな物が提供できれば良かった。
- ・ 日中の過ごし方は、本人の体調を見ながら、離床時間の調整ができたと思った。
- ・ 看取り介護導入してから、状態が悪くなるのが早かったが、御家族が協力的に必要な物を準備してくれて助かった。亡くなった日は、お嫁さんしか間に合わず、残念だったが、死後の処置で、化粧をする際、息子さん、お嫁さんと話をしながら一緒にできて良かった。
- ・ ご家族が面会に来てくれたり、施設側も状態をまめに連絡していたので、家族が気持ちの準備ができ、最期の受け入れができていたように感じた。
- ・ 状態が悪くなってから、拘縮が進んでしまったので、もう少し何かできれば良かった。
- ・ 体重も変わらず、口が渇いていたり、苦しいなどの時間が短かったが、もう少し楽しみがある食事を考えてあげれば良かった。
- ・ ご家族の面会がなかったのが残念だったが、日を設定し来荘を促したことにより、ご本人とご家族が過ごす時間が作れたので良かった。
- ・ 最期まで自分の意思がある時、どこまで希望に沿えるかが難しいと思った。
- ・ 糖尿病があったが、ご本人が食べたい物を、ご家族が持ってきてくれて、最後まで、ご本人の希望通りに対応してもらえて良かった。
- ・ 言葉を発して欲しい、寂しくないようにということで、午前・午後必ずご本人の顔を見て欲しいと連絡ノートに書き対応していき、結果、多くの職員が声掛けてくれた。
- ・ 血圧が低く、居室で過ごす時間が多かったので、血圧が安定している時は、少しでも離床できるように対応していた。
- ・ 看取り介護開始した頃に、ご本人の好む物などを家族と話し、持ってきてもらなどの投げかけをもっと積極的に行い、巻き込むことができれば良かった。